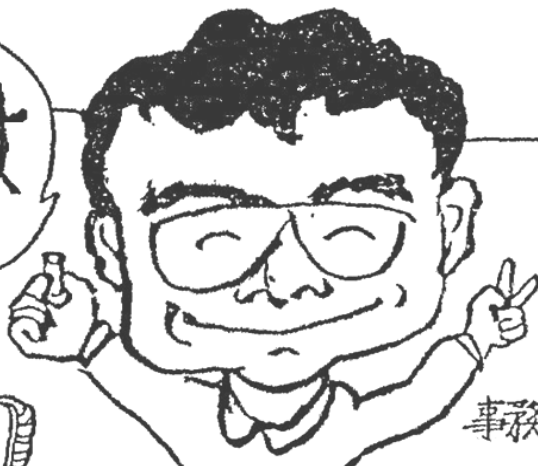


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年12月18日 NO.1166



きらとみひこ

吉良富彦 です

新屋敷事務所 823-5878  
蕨野事務所 846-2046  
県議会控室 823-9524

事務所

# コロナ抗原検査キット すみやかに無料配布へ

## 自己負担で購入せよ！ 医療から排除の非道

● 13日、塚地さち  
県議が新型コロナウイルス感染対策で一般質問に立ちました。  
発熱しても医者に診てもらえず、まず、自費で2000円前後の抗原検査キットを購入し、その検査結果がなければ受診できないという今の県のやり方は、経済的弱者を医療から排除する非道なシステムであるのでやめるべきだ。希望する県民には、抗原検査キットを郵送するなどの方法を講じるべきだし、経済的に厳しい方々に対する検査キットの購入費へは具体的な措置を講じるべきと県の姿勢を質しました。

●答弁に立った知事は、「第7波において、検査キットの供給が追いつかず、入手が困難になったので、国から配布された検査キットの無料配布を行った。

その後、検査キットが入手しやすい状況となったため、無料配布を休止していますが、今後、発熱外来や

流通状況が逼迫してきた場合は、速やかに再開する予定」と答弁しました。

## 発熱等の症状出たら 自己検査せずに受診を

●さらに続けて、知事は「経済的な理由など検査キットの購入が困難な方々については、発熱等の症

状が出た場合は、自己検査は不要ですので、速やかに医療機関で受診していただくようお願いします。」と述べました。

この間、県は、発熱や咳などの症状が出た場合、市販されている抗原検査キットを自費購入し、陰性が確認された者のみ発熱外来以外の医療機関で受診できるとして、実質的に、検査キットを自費で購入できない県民を発熱外来以外の医療機関で受診できないとしていました。

●ある母子の方は、「一個2千円もする検査キットを家族分買うとなると、一週間分の食費がなくなる。物価高でこれ以上生活費を削ることもできないのに。」と言っています。また、生活保護を受けている方も「診察を受けて投薬してもらえれば医療保護の対象になるのに、薬屋で購入するのは保護費から出ないので、手が出ない」との声が寄せられていました。



キラリンにやんでも通信  
める署名、私学と合わせた県民の教育への願いが詰まった1万8656筆の重い署名を県議会議長へ提出。(右下写真) その後、県議会各会派へ紹介議員になってくださいと共産党議員団にもお願いに回ってきました。実現に向け力を合わせます。



国民大運動実行委員会の教育問題に関する交渉が12月5日行われました。(上の写真)  
また、議会開会日の6日には、ゆきとどいた教育を求め

●12月議会は来年度予算に向けた県への要求交渉が活発に行われます。

## 運動団体次々と行動

## 要求実現へ 県に対し

